

心肺蘇生法を学習して

射水市立小杉南中学校 2 学年



射水市医師会の医師や看護師、射水消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形や AED トレーナーを使って学びました。実施後の感想を紹介します。

見ている時は簡単そうに思えたけれど、実際に体験してみると、混乱して次に何をすればよいのか分からなくなりました。本当にそういう場面に出会ったら、多分もっと混乱すると思うけど、目の前にある命を助けることだけを考えたいです。
(1 組女子)



僕は、「14歳の挑戦」で、一度体験したことがあります。だから、復習するつもりで受けました。今回の講習では、AEDを使う時の注意点も前よりもくわしく知ることができました。あとは、もしもの時に、あわてず行動できるかどうかだと思います。
(1 組男子)

ステージに上がって、実際に心肺蘇生法をした二人は、手際よくできていて「すごいな」と思いました。

いつ、誰に、何が起こるかわからないので、今日の講習会で学んだ心肺蘇生法を覚えておきたいと思いました。
(1 組女子)

今までも、命が大事だということは分かっていたけれど、今回の講習会で再確認できました。でも、実際に自分がそんな場面で冷静にできるかどうかは分かりません。しかし、「そんな時こそしっかりやらなければならない。」という言葉が心にとっても響きました。
(2 組男子)

救急車が来るまでの約7分間に、周りにいる人が手当をするかしないかで、その後の生存率が違うことを知りました。だから、心臓マッサージをできるようになったり、AEDを使えるようになったりすることが大切なのだ分かりました。

万が一のときに、一歩前に出て人の命を救えるようになりたいです。
(2 組女子)



この講習会に参加しなかったら、人が道で倒れていても自分はどうすることもできなかったと思います。AEDのことも知らなかったし、やり方も分からないし、多分混乱状態になったと思います。今回、とても大切なことを教わったので、自分にできること精一杯したいと思います。
(2 組男子)



救急車が到着するまでに救命処置をするかしないかで、生死を大きく分けるということを学びました。

いざ、本当に倒れている人がいたら、とてもびっくりして、怖くなって一歩さがってしまうかもしれないと思うけれど、後悔しないように、勇気をもって心臓マッサージや人工呼吸をし、命を守れるようにしたいです。(3組女子)

私は、小学校の時に一度講習を受けたことがあります。でも、忘れていたところもあったので、今回の講習会でしっかり学ぶことができよかったです。心臓マッサージのやり方も、小学校のときより、詳しく、分かりやすく教えてもらいました。もしもの時は不安だけれど、今回しっかり教えてもらったので、自信をもって一生懸命やりたいです。(4組女子)

僕は、この心肺蘇生法講習会で大切だと思ったことは、「何事も勇気をもって行動する」です。

1分1秒でも速く救命処置をすることで、救える可能性が上がるということも知りました。

胸骨圧迫は、とても難しかったけれど、講師の方にとってもやさしく、分かりやすく教えてもらったので覚えることができました。

今回学んだことは、一生のうちに使うかどうか分からないけれど、もしものことがあったら、助けてあげたいです。(4組男子)

はじめは分からないことばかりでしたが、指導してくださった方のおかげで学ぶことができました。でもまだ、本当にこういうことが起きたら、しっかり対応できるか分かりません。だから、家に帰って、今日配られたテキストをしっかりと読み、いざというときに冷静にできるようにしたいです。もしも、自分の周りで何かあったときは、必ず助けたいと思います。(3組男子)

今日は、心肺蘇生法のやり方だけでなく、命が本当に大切なものであることや、何かあったら立ち向かう勇気が大切だということも学びました。今日の学びを生かして、普段の生活もがんばっていきたいと思いました。

(3組男子)

心肺蘇生法は、自分は使うことがないものと思っていました。でも、救急救命士の方の話を聞いて、使う場面は突然来るかもしれないということが分かりました。

また、実際に心肺蘇生法をやって助かる命があると聞いて、とても大事なことだと思いました。

(4組男子)

講習の最後に、みんなの前で行ってくれた二人は、とても冷静で落ち着いていました。「すごいと思う」とか、「あんなふうになれるようになりたい」といった感想が多くありました。

